

〜おおいしだめとんとむがすあつたけど③⑦〜

あんどん子とちようちん子

その1

むがすむがす、あつたけど。

大石田のあるどごろさ、お寺があつたけど。そのお寺に、あんどん子とちようちん子という名の二人の小僧こぞうがいたけど。

お盆ぼんに、和尚わしやうさんが、二人の小僧に

「山に行つて花取つてこい。」

と言つたけど。ほして、二人に何かあつてえぐないと思ひ、まじない紙を三枚持たせてやつたけど。

二人は、花取りに出がげだげんと、道に迷つてしまつたけど。道をたねでさがしているうづ、暗くなつてすまつたけど。

困つていたら、遠くに明かりが見えできたけど。そこで、二人はわらわら明かりのある家に行つてみたら、一人の婆様ばさまがいたけど。二人は、道に迷つたことをしゃべつて、「晩泊ひとぼとめてもらふことにしたけど。

夜中よなかに、二人が寝ている時、シャリ、シャリ、シャリ、という音がとなりの部屋から聞こえてきたけど。あんどん子が、目を覚まして、何だべな、と思つてそうと障子しょうじを開げあけのぞいてみだえは、婆様が鬼おにはばあに変わつてすまて、包丁ほうちやうときしつたけど。あんどん子は、おらだば食くう氣きしつたなと思つて、わらわらちようちん子ちやうちんこを起おこして、「しよんべ出る。」

と鬼おにはばあをだまして便所へんじょに行つたけど。便所に入つて二人は、和尚さんからもらつてきたまじない紙に、

「まだまだ、まだまだ。」

と、まじないをかけ、便所の窓まどから逃げ出した。

鬼おにはばあは、二人を早く食くいだくて便所まできて、

「まだまだが。」

と何回も聞いただけげんと、何回聞いても、「まだまだ。」

と言うもんだから、不思議だなあと思つて、便所の戸を開けてみたら、紙が貼はつてあるげんで、二人の姿が見えねがつた。そこで、だまさつたど氣付き、二人を追おっかけていった。

(つづく)

○出典『大石田のとんとむがす』

(大石田とんとむがすの会編集・発行、二〇一九年)

町内で昔語り活動を行っている大石田とんとむがすの会によるお話です。

『大石田のとんとむがす』は町立図書館や町内の各小中学校図書館などに所蔵していますので、ぜひお手に取つてご覧ください。



町の人口 令和6年12月1日現在

世帯数	2,218戸	(-2)
総人口	5,986人	(-21)
男	2,980人	(-10)
女	3,006人	(-11)
(11月中の異動)		
出生	1人	転入 1人
死亡	15人	転出 8人

※この人数は外国人も含めたものです。

防災放送の内容を 電話で確認できます

防災放送が聞き取りにくい、放送内容を確認したい等のご意見をいただき、町では防災放送確認ダイヤルサービスを開始しました。

このダイヤルは定時(夕方6時のメロディ等)放送を含め、直近の放送から8時間以内の内容を順次聞くことができます。

確認ダイヤル: 0237-48-8444

■総務課総務グループ Tel.35-2111 (内線218)

大石田町公式アカウント開設

LINEはじめました

防災情報や各種行政情報を受け取ることができます。

友だち登録をお願いします!

登録方法

右の二次元コードを読み取って友だちに追加してください。



大石田町公式LINE